

《 議会事務局 平成30年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

事務局長 寺井 儀政

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

議会事務局は、議会の運営に関し、議員に質の高い職務環境を提供し、議員の議会活動を補佐することを使命として、草津市議会基本条例に示された「市民に開かれた議会」「政策の立案や提言を行う議会」「行政の監視および評価を行う議会」の3つの柱の機能充実が図れるように努めます。

- ◆本会議のインターネット中継や議会ウェブサイトの公開、議会だよりの発行等、積極的な情報提供を通じて「市民に開かれた議会」の実現に努めます。
- ◆議会としての政策形成や審査機能の向上を図るため、これまでの取り組みを踏襲した議会改革の推進に努めます。

【重点事項】

- ◆議会報告会の実施をはじめとして、議会改革を通じた議会の充実強化に努めます。
- ◆本会議や委員会運営をはじめとする議会運営のサポート体制の充実を図ります。
- ◆議会の情報発信の充実を通じて、市民の議会への関心向上を図ります。
- ◆ICTの導入・利活用により、議会活動の能率化を図ります。

【健幸都市づくりの推進に向けた考え方、主な事業】

【見 積】平成30年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		平成30年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	258,205	258,205	<ul style="list-style-type: none"> ・議会ウェブサイトやインターネット中継の実施、議会だよりの充実など、「市民に開かれた議会」の実現に向けた取り組みを進めます。 ・委員会活動の活性化を図るとともに、必要に応じて先進事例の調査研究を実施します。 ・全ての事業を見直し、経費の節減を図りました。 ・「政策の立案や提言を行う議会」、「適正な行政監視および評価を行う議会」など、議会基本条例に定める議会の役割を果たすため、議会活動の能率化を図る手段の一つとして、タブレット端末やクラウドシステムを導入し、ICT化を図ります。
合 計	258,205	258,205	

【前年度】平成29年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	257,889	257,889	
合 計	257,889	257,889	

【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	316	316	<ul style="list-style-type: none"> ○議員共済負担率の変更による減額(39.7%→38.2%) ○ICT導入による増額
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	316	316	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)		事業概要
		一般財源	

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
議事庶務課	14,290	14,290	0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	14,290	14,290	0	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

ICT導入・利活用による印刷物の削減。(平成30年7月からタブレット端末導入により、コピー用紙代およびコピー機使用料の削減。)